



白五小だより

平成27年7月15日(水) No.13

白河市立白河第五小学校 発行責任者 嶋 忠夫

TEL 0248-28-2004 / FAX 0248-28-2042

授業参観、教育講演会、AED・心肺蘇生法講習会、 おつかれさまでした!

7月10日(金)に、1学期末の授業参観、教育講演会、学年懇談会、AED・心肺蘇生法講習会が行われました。盛りだくさんの1日となりましたが、参加いただきました保護者の皆様、大変おつかれさまでした。

授業参観では、1学期の子どもたちの成長の姿を見ることができたかと思います。今学期の成果と課題を通知票でお知らせしますので、ぜひ、2学期もがんばってほしいと思います。ご家庭のご協力をお願いいたします。



▲ 5年生の授業参観は水泳でした

授業参観のあと、白河南中PTAと本校PTAの合同開催で教育講演会を行いました。「ネット社会の危険から子どもを守るために」という演題で茨城県メディア教育推進員の水野史代様からご講義をいただきました。

ネットを利用できるのは、パソコンやスマートフォン、携帯電話ばかりではありません。子どもたちがもっているゲーム機、音楽プレーヤー、お家の方が使っていた古いスマートフォンなども無線LAN環境があれば、インターネットにつながります。そこで、様々なトラブルが起きています。そのようなネット社会の危険から子どもたちを守るとともに、正しく安全に情報機器を使う力をつけていくことが求められています。夏休み中、家族のルールを子どもさんと話し合ってみてはどうでしょうか。



▲ PTA合同教育講演会の様子

最後に、AED・心肺蘇生法講習会が行われました。日本赤十字社の救急法・幼児安全法指導員の中川達也先生を講師にAED・心肺蘇生法の実技研修を行いました。今年度は、夏休みのプールの監視を全保護者をお願いいたしました。絶対にプールでの事故を起こさないように、万が一起きてしまった時に、適切な対応ができるようにしていきます。子どもの安全安心、そして子どもの命を守るための有意義な研修ができました。



▲ AED・心肺蘇生法講習会の様子

着衣泳に挑戦！万が一に備えて・・・

13日（月）に、着衣泳指導研究会の協力を得て、全学年が着衣泳に挑戦しました。子どもたちは、水着で泳ぐのとは違い、体が動かしにくく、泳ぎづらいことを実感するとともに、ペットボトルなどを使って浮いて救助を待つ練習をしました。自分の命を自分で守る一つの訓練となりました。

夏休み中、水の事故ゼロになるよう十分注意してほしいと思います。



身近な地域の昔話を知ろう！ 白河の歴史・文化再発見事業

13日に、白河の歴史・文化再発見事業として「身近な地域の昔話を知ろう！」を2年生生活科で行いました。読み聞かせでお世話になっている菅原敏子さんが来校し、昔話を聞かせてくださいました。太陽の丘の祠の話や境の明神の話、金売吉次の話、五器洗の話など本校の学区に伝わる話を聞かせていただきました。また、小峰城の「おとめ桜」の話や「三枚のおふだ」の話を子どもたちは夢中になって聞き、時間があっという間に過ぎてしまいました。

郷土の歴史や伝説に興味をもって、夏休みに調べてみてはいかがでしょうか。



楽しく、安全な夏休みのために・・・ その2

まもなく、子どもたちが楽しみにしている夏休みになります。学校では、夏休み前に楽しく安全な夏休みを送るために注意することを指導していきますが、ご家庭でも子どもたちにお話下さい。

危険な場所には近づかない！水の事故に十分注意しましょう！

夏休み中、必ず全国で水の事故が報道されます。せっかくの楽しい夏休みが、あっという間につらく悲しい夏休みになってしまいます。水の事故に遭わないように十分気を付けてほしいと思います。

- ◆ 本校の学区には、ため池や用水路が数多くあります。PTA防犯安全委員会で学区内の危険箇所を点検しました。危険な場所には、右のような看板が設置されています。この場所では絶対に遊ばないように、ご家庭でも子どもたちへの指導をお願いします。
- ◆ 家族で、海や川などに遊びに行く機会も多くあると思います。危険な場所には近づかないとともに、お子さんから目を離さないよう注意してください。



万が一、池や川に落ちたときに備えて、着衣泳の訓練をしました。その際、友達が落ちたからといって助けるために飛び込まないことを教わりました。まずは大人を呼ぶことが大切です。この夏休み、水の事故のないように気を付けていきましょう！